

病院内の活動のはじめかた



しぶたねの場合、病院活動を始めた頃、病院内のボランティア活動は小児病棟で子どもとあそぶ活動をしている「あそぼっくる」というグループだけでした。当時はボランティアコーディネーターの方もおらず、ボランティアの担当は管理部の方だったので、管理部の担当の方を通して「きょうだい支援をしたい」ことを伝えていました。管理部の方々、病棟の看護師さんたち、小児科のお医者さん、たくさんの方ががんばってくださったところに、親御さんたちからの「きょうだいを廊下に置いて面会に行くのが心配」という声も加わって、活動に入れるようになりました。活動場所がなかなかみつからず、入れるようになるまで4年かかりましたが、最後は看護師さんがベッド置き場だった部屋のベッドを動かして、部屋を用意してくださったそうです☆

はじめるヒント？

一緒に活動をする仲間はいらっしゃいますか？
ひとりで活動することももちろんできますが、たとえばきょうだいさんを部屋でお預かりするような活動の場合は、1回の活動に3人以上の大人がいた方がよいです（トイレについて行ったりハプニングに対応している時に他の子がひとりにならないように）。

病院内に、ボランティアコーディネーターの方はいますか？
いらっしゃる場合は、まずこの方に相談するのがよいと思います。
ボランティア担当の方がおられない場合は、病棟の看護師さんや保育士さん、管理部の方が相談のってくださるかもしれません。

✿ 最初から「継続して入ろう」と思うとハードルが高いので「単発のイベント」から始めるという手もあります

おもちゃがなくても子どもたちと楽しくあそぶ方法はたくさんあります。絵本のよみきかせ、てあそび工作、お絵かき、おしゃべりかくれんぼ(?)得意な方法で、大人も楽しい方法で、一緒に笑顔になれたらすてきです。

✿ すでに活動中の他のグループの方々に協力してもらったりコラボしたりするのも楽しいかも…

「活動に入る前に、きょうだいさんの気持ちについて研修をしたいけれど、どんな資料にしたらいいのかな」「活動をするのに必要な書類や見学してもらう時に必要な書類をつくりたいのだけど…」しぶたねが使っている資料や書類でお役に立てそうなものがあれば、使っていただけたら嬉しいです。ブログからお問い合わせください。

✿ 小児科のイベント(夏祭りやクリスマス)に合わせて、きょうだいさんにも楽しいことを届けるボランティアさんもよいかもしれません。「自分は関係ないから」と遠慮してしまうきょうだいさんたちに、自分のためのボランティアさんがいたら嬉しいかも!



こんな活動もあんな活動もあったらすてき

たとえば…

紙芝居屋さん 絵本屋さんがくるよ

廊下で退屈していたら、紙芝居や絵本をもった人がやってきて読んでくれたんだよ。みんなと一緒に聞いたんだ。とってもおもしろかった!



季節の工作の日があるんだ

ときどきボランティアさんが来て、夏休みはシールを貼って可愛いうちあをつくらしたり、冬休みはクリスマスのカードを作ったりしたよ。楽しかったからおぼえてるよ!



病院探検ツアーに行ったんだよ

入院している妹の保育士さんが病院の中のこと、教えてくれたよ。看護師さんも、検査室の人もやさしくて安心したんだ。もう1人で待っても不安にならないよ。



✿ 廊下にお医者さんや看護師さん、保育士さんなど、病院のスタッフの方のお写真とお名前を飾るだけでも、きょうだいさんにとって知ってる人が増えることにつながるかもしれません

ボランティアさんが勉強教えてくれるんだ

ボランティアのおにいさんおねえさんが宿題をみてくれるんだ。廊下で一人で宿題するのはつまらないけど、教えてくれたりほめてくれたりすると、やる気が出るよ!



P36~39で他の病院のすてきな活動も紹介しています。ぜひご覧ください。

病院にいるきょうだいさんは「ここにいていいのかな」と不安な気持ち、心細い気持ちの子が多いです。特別なことがなくても、にっこりほほえみかけてもらうこと、あいさつしてもらうこと、それだけで「ここにいていいんだ」と安心できる子もたくさんいます。ぜひ、「ここにいていいんだよ」の気持ちを渡してあげてください。

✿ 「きょうだいは立ち入り禁止」と書いてあると、邪魔なのかな、迷惑なのかなって感じて悲しいかも…。「きょうだいさんはここで待っていてね」と書いてあったら「ここにいていい」って思えるかも…。

大人になってふりかえってあの時やさしい人がいっぱいいたなあって思えたらすてきだとおもうのです。

